



▲天塩小学校の太陽光発電

No.146

平成26年8月27日発行
北海道天塩町議会

てしお

議会だより

一般
質問

- 第2回定例会……………2
- 3人町政を問う……………3
- 自治功労者表彰……………8

第2回天塩町議会定例会

平成26年6月定例会は、6月12日に召集され会期を13日までの2日間と決め、3氏4件の一般質問のあと平成26年度一般会計補正予算、条例改正などの議案について慎重に審議を行い閉会しました



一般会計補正予算

1億8234万円増額 **総額** 45億9643万円



▲てしお温泉 夕映

- 【増額補正】
- ・町有林伐採事業
 - ・町有林間伐事業
 - ・天塩町環境基本計画策定事業
 - ・道営草地畜産整備事業
 - ・森林整備地域活動支援交付金
 - ・夕映まつり実行委員会補助金
 - ・町民保養センター再生可能エネルギー導入事業
 - ・スクールバス車庫等整備事業

主な補正内容（歳出のみ）

山本春光議員

てしお温泉夕映の経営改善策は

町長

光熱水費削減に取り組む



山本春光 議員

②70歳以上の町民に対し、無料入浴券を配布しているが、交付状況は減少傾向にあり、25年度では対象者854名に対し、交付された方607名、実際に使用した方376名と伺っている。内容を見直す考えは。

【山本】
①夕映について、燃料費の高騰や利用者の減少等に対応するために様々な経営努力がなされてきたが、その対応策の1つとして、町長が前向きに取り組むとしていたRPFボイラーの活用が、今年度予算に計上されていない。収益改善には水道・光熱費の削減に着手すべきと考えるが、町長に別の考えがあるのか。

【町長】
①収支改善には、光熱水費の削減が必須と認識しており、国や道の制度を活用しながら導入に向けた検討をしておりますが、費用対効果など、様々な観点からの考察が必要であることから、当初予算の計上を見送りました。
②ご指摘のように見直しの時期がきたものと考えており、どのような施策がいいのか検討させていただきたいと思えます。

【山本】
RPFボイラーは、酪農業で排出される廃ラップの処理にも有効で、北大でも研究が行われていると聞く。導入した場合の費用対効果はどの程度見込めるのか。

【企画商工課長】

現在、廃ラップの処理は酪農家が費用を負担して苫小牧の工場に運んでおり、導入した場合には廃ラップの有効利用となるほか、それに伴って雇用が生まれることもあると思えます。利益の貢献金額としては概算で1800万円程度との数字が出ております。

【山本】
入浴券について、使い勝手が悪いとの話も聞かれますが、使い勝手をより良くして、一人でも多くの人が温泉に親しんでもらえるように改善する考えは。

【町長】
町民の健康・保養のためという福祉的な役割や収支の関係などを考慮しながら、取りまななければならぬと考えております。

※RPFボイラーとは？

リサイクルが難しい古紙や木くず、プラスチックごみを原料とした高カロリーの固形燃料を用いるボイラー

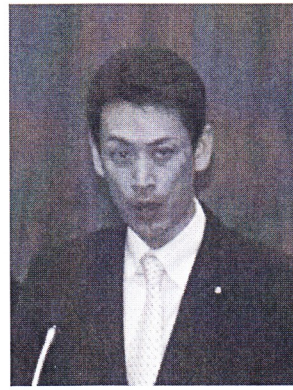


▲内容見直しが期待される入浴券

雄信内地区の今後は

町長

これ以上衰退しないよう務めます



横山敦 議員

③生徒数確保のため、同規模校である幌延町立問寒別中学校生の受け入れなどの考えは。

【教育長】

①啓徳小・中学校PTA役員および学校関係者より平成28年3月をもって啓徳中学校を閉校し、天塩中学校に統合を希望したいとの相談を受け、今後の対応について協議したところです。

②本年度は、教員数5名、28年度には教員数が2名となり、教頭についても小・中学校と兼務となる予定です。

③問寒別中学校の生徒数は、平成28年度5名となる予定で問寒別中学校の生徒を受け入れた場合も、

1学年1学級を維持することができず、複式学級となります。保護者として将来における子供の教育を思い、天塩中学校へ統合することが最善であると判断したものと考えております。

【横山】

閉校することによる教職員数減により、雄信内地区の人口減が地域コミュニティの崩壊と集落の限界を助長する恐れがあり、単なる中学校の閉校問題ではないように感じます。雄信内地区の今後として空き家となる教職員住宅の有効利用と現在ある公営住宅のストック計画の見直し、町が取得した旧高木旅館の処分及び利活用、更に雄信内地区周辺に点在する旧小学校、現在の社会教育館を公売して、工場や事務所、工房やギャラリーに利用するなど、民間の活用を推進する活性化策についてどう考えるか。

【町長】

この問題は地域が非常に大きな影響を受けます。学校を中心としてスクラムが組まれていることは当然ですが、今後地域をどのように生かしていくか、施設を有効に活用する方法の検討も進め、雄信内地区がこれ以上衰退しないよう一生懸命努力をしていきたい。



▲啓徳小中学校・雄信内保育所合同運動会

社会福祉会館の改修を

町長

安全性を重視して取り組みたい

【横山】

老朽化が進み、外壁、施設内においてもいたるところに傷みが生じている状況、全体的に大規模改修をする計画が必要だと考えます。

- ① 築年数と今後利用できる年数は。
- ② 耐震化基準を満たしているか。
- ③ 改修ではなく建替の考えは。

【教育長】

① 昭和44年建設、築後44年が経過しています。今後利用できる年数は実証されていないのが現状です。

② 昭和56年以前に建設された建物については、耐震診断が必要とな

りますが、当該施設は調査が実施

されていないため、耐震基準を満たしているかについて判断ができません。しかし、築後44年が経過した建物であるとともに、海岸に近接していることにより塩害等の影響もあり、改修するには耐震補強も考慮に入れ整備することが必要であると思います。

【町長】

③ 第6期天塩町総合振興計画において、建替え計画の予定はありませんが、本町のまちづくりを進める上におきまして、中心的な施設ですので今後の財政状況を踏まえ、引き続き検討していきたい。

【横山】

町内外の人が利用する中心的で重要な利用頻度の高い施設であるにもかかわらず、安全性が検証されていないのは問題があります。近年では図書室の利用者が多いこと、更には当面建替計画が予定されていないことから、実際の耐用年数調査、耐震診断、耐震補強、内外装を中心とした改修の必要があると考えます。今後軽微な改修を繰り返して、建替を待つか、それとも大規模改修をして長寿命化を図るか、どのように考えているのか。

【町長】

できる限り、安全性を重視して取り組んでいかなければなりません。福祉会館を利用される方はたくさんおられますので、安全な施設で安心して利用できる形に考えて努力をしていきたい。

【横山】

福祉会館は、いわば町の一つの顔ともいえ、町外から来た方が集うところは福祉会館が夕映です。早期に改修計画が樹立され、適切な時期に、適切な維持管理をし、全ての公共施設において、長寿命化を図る施設管理が必要で

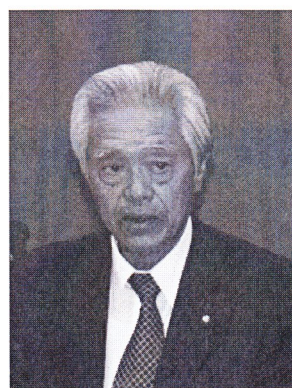


▲老朽化が進む社会福祉会館

遠藤功議員

諮問機関の見直しは

町長 再度検討します



遠藤功 議員

【遠藤】
現在、天塩町の審議会等の諮問機関数は33に及ぶが、現状では縦割り、適切な開催時期を逃す例もあり、必要性に疑問を感じている。

- ① 審議内容に重複している計画は天塩町総合計画に整理統合させ、人口規模に合わせて見直す時期では。
- ② 諮問機関の最近2、3年の活動状況は。
- ③ 観光振興計画はどの付属機関が審議するのか。

- ④ 環境審議会の設置状況や委員構成、予算措置は。また、環境基本計画には再生可能エネルギー対策について、具体的にどうまとめられているのか。
- ⑤ 異なる審議会でも委員の顔ぶれがほとんど同じでは、発想も同じで新味が出ない上、出席する委員の負担にもなる。幅広い人選により、一人一役の委員構成を考えるべきでは。

【町長】
① 行財政改革の際にも見直しを行いました。再度、検討してまいりたいと考えております。

- ② ほとんどの機関が年1回程度の開催です。
- ③ 天塩かわまちづくり検討会と協働し、策定に向けて検討を進めています。

④ 専門的な知識を有する者のほか、産業・観光などの分野等に関する視点や意見が必要なことから10人以内の構成とし、今年度は3回の開催を予定しています。

再生可能エネルギーは、計画策定に時間がかかることから、先んじて取り組ませていただいた状況です。

⑤ 公募制の導入など、より良い委員構成となるよう検討してまいりたいと思います。

【企画商工課長】
③ について、観光開発審議会への諮問が適当と考えております。

【遠藤】
① 審議会に提案される内容が議会で議決済みの事項であったり、年度開始後に開催されるなど、答申が政策運営に反映されない現状をどう考えるのか。

- ② 再生可能エネルギーは、総合計画審議会に諮問し、答申を受けた上で議会に提案するのが正規の手順では。
- ③ 委員の年齢制限は。

【町長】
① タイミングを失したものもありますが、国や道との調整もあり、ご指摘の内容については具体的に精査し、努力してまいりたいと思います。

② 今回は予算の関係で間に合いませんでしたが、できる限り審議を経ってから議会に諮るルールにしたいと考えております。

③ 概ね70才を目途としています。

主な審議会等の活動状況 (平成25年度)

名称	主な審議内容
町営住宅入居者選考委員会	入居者の選考について
民生委員児童委員協議会	防災福祉マップの見直しについて
健康てしお21推進委員会	高齢者の見守りについて
酪農振興協議会	酪農振興基金貸付について
観光開発審議会	今後の観光振興について

意見書提出

【TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書】

○提出者 渡辺議員

○賛成者 川端、後藤、菊地議員

(要旨)

TPPは農業だけの問題ではなく、国民一人ひとりの暮らしや地域社会の将来に極めて大きな禍根を残す問題であり、国民的議論のないまま交渉を進めることは、決して国益にかなうものではありません。

このため、多くの国民や道民、地方議会と自治体首長は、TPP協定交渉への参加に反対・慎重な対応を強く求めてまいりました。よって、TPP交渉に係る衆参農林水産委員会決議の遵守等に関して、下記のとおり要請する。

①TPP交渉に係る衆参両院 農林水産委員会決議の遵守

政府は平成25年4月の衆参両院農林水産委員会における決議「環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉参加に関する件について」を遵守する

とともに、決議が遵守できない場合は、TPPから脱退すること。

②すべての国際貿易交渉における重要品目等の関税維持

EPA・FTA等のすべての国際貿易交渉において、重要品目等の関税等、必要な国境措置を維持するとともに、特に日豪EPA交渉については、平成18年12月の衆参両院農林水産委員会における決議「日豪EPAの交渉開始に「関する件」を遵守すること。

【ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書】

○提出者 菊地議員

○賛成者 横山、渡辺、山本議員

(要旨)

わが国においてウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の責めに帰すべき事由によるものであることは確認されているところであり、国の法的責任は明確になっている。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費

助成の対象から外れている患者は相当数にのぼり、特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

よって、本議会は、下記事項を実現するよう強く要望する。

①ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

②身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

【道州制導入に反対する意見書】

○提出者 後藤議員

○賛成者 山本、遠藤、草刈、川端、横山議員

(要旨)

道州制導入後の国の具体的なかたちを示さないうまま、期限を区切った導入

ありきの内容となっており、事務権限の受け皿という名目のもと、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、道州はもとより再編された「基礎自治体」は、現在の市町村や都道府県に比べ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかである。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信している。

よって、我々天塩町議会は、道州制の導入に反対する。

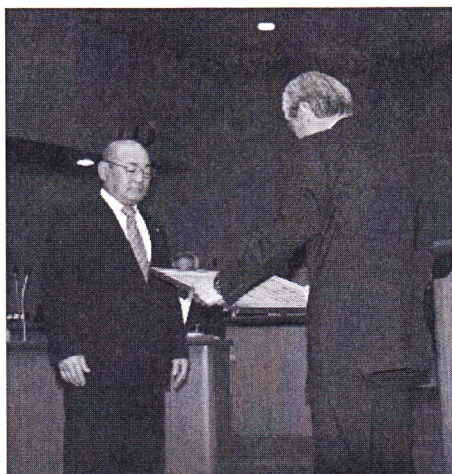
おめでとうございます

北海道町村議会議長会

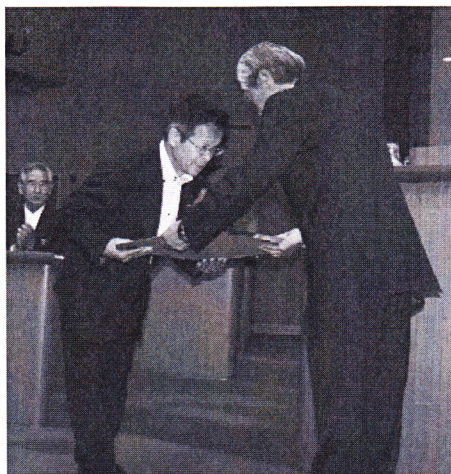
自治功労者として表彰

石山議長の2氏 渡辺議員

石山直継議長と渡辺修勝議員の2氏が、15年以上にわたり町議会議員として地方自治の振興発展に寄与された功績に対し、北海道町村議会議長会から自治功労者として表彰され、6月12日の定例会開会に先立ち、遠藤副議長から両氏へ表彰状の伝達が行われました。



▲渡辺議員



▲石山議長

議
会

を

傍聴

してみませんか!



次の定例会は

9月24日(水) から

9月26日(金)

の予定です。

(一般質問は初日に行う予定です)

編集・発行

【議会広報特別委員会】

●委員長 川端 英嗣

○副委員長 横山 敦

○委員 山本 春光